

今週の相場はどうなる？

今週の相場はどうなる？

作成者：山根亜希子

○9月19日～

今週は日米で金融政策を決める会合があります。政策の差が浮き彫りになるとドル高の動きが強まる可能性もありますが市場は日銀の介入がどうなるかにも注目しているため金融当局の動きから目が離せません。

また、英国、スイス、南アなどでも政策金利の発表があり、0.75%の利上げ予想など大幅利上げで日本との金利差が開いてくる国が増えています。

ドル以外の通貨から見た円安の動きにも注意したいです。

<ドル/円>

ドルは141.5-145円のレンジで方向感がわかりにくくなっています。

145円をまだつけていないため再度試しにいく動きに注目したいです。

下値は、142円台後半を維持できれば強い動きが期待できそうです。

<気になるクロス円>

クロス円は先週軟調な動きとなりました。

株価が下げていることでリスク回避的な流れが強まっているため底打ち確認するまでは買いは見送りがよさそうです。

*クロス円とは円との通貨ペアの総称：〇〇/円というような通貨ペアのことです。

<ファンダメンタル？>

日本では8月全国消費者物価指数、日銀金融政策決定会合、黒田日銀総裁定例会見などがあります。

米国では9月NAHB住宅市場指数、8月住宅着工件数、8月中古住宅販売件数、FOMC政策金利、パウエルFRB議長定例会見、前週分新規失業保険申請件数、8月景気先行指標総合指数、9月製造業・サービス部門・総合PMI（速報値）などが発表されます。

欧州ではユーロ圏とドイツで9月製造業・サービス業PMI（速報値）、ユーロ圏で9月消費者信頼感指数などがあります。

ほかには南アフリカ、スイス、英国で政策金利の発表などがあります。